

共に歩んだ136年...

夏井第二小学校閉校

夏井第二小学校 校歌

丘 灯至夫 作詞
夏原 明溪 作曲



出席者全員で校歌を斉唱

一 田村の大地 踏みしめて
無限の空に 胸張ろう
ああ ここに ここに ここに
ここに 夏井第二小学生
ここに 花と太陽を

二 阿武隈高地 九生滝川
やすまぬ流れ その教え
ああ ここに ここに ここに
ここに 夏井第二小学生
励まし 助け 美しく

三 嵐に 寒に 立ちむかい
杉の木 天にそそり立つ
ああ ここに ここに ここに
ここに 夏井第二小学生
この健やかさ いつまでも



別れのことば 吉田優衣さん

夏井第二小学校の閉校式が3月28日、同校体育館において、在校生、卒業生、地域の関係者など約300人が出席し、行われました。

閉校式では、穴戸町長が「小中学校音楽祭において、地区代表校に選ばれるなど、有終の美を飾った児童の皆さんの努力と関係者の皆さまの熱心な取り組みに感謝申し上げます」と式辞を述べ、武藤英明校長が「人数は少なくても、一人ひとりが熱心に取り組み、いろいろな場面で活躍してきました。4月からさらに勉強や運動に励み、立派な「なつ子」になってくれることを願います」とあいさつしました。

また、児童を代表して吉田優衣さん(6年)が「全校生で取り組んだ合奏で2年連続県大会に出場し、たった21人でもやればできると実感しました。閉校は

さびしく悲しいことですが、私たちが、夏井第二小学校を愛する気持ちはいつまでも変わりません」と別れのことばを述べました。

続いて、武藤校長と西牧一歩さん(6年)から、町長に校旗を返納しました。

このあと、全員で校歌を歌い、思い出のたくさん詰まった母校との別れを惜しみました。

引き続き、夏井第二小学校閉校記念事業実行委員会による記念行事が行われ、児童たちが学校の歴史や今年一年間の思い出をスライド使って紹介したほか、合奏と合唱を披露しました。

また、校庭で風船を飛ばし、最後の思い出を作りました。児童たちは、風船が見えなくなるまで、ずっと空を見上げていました。



校旗返納 西牧一歩さん



出席者全員での風船飛ばし



県大会出場の演奏を披露